|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 原稿提出者 | 所属校 | ○○町立○○〇学校 |
| 職・氏名 | 栄養教諭　○○○○ |
| 指導案授業 | 実施校 | ○○町立○○〇学校 |
| 実施日時 | 令和〇年　月　日〇校時 |
| 「学校給食研究会栄養士部会　○○方部授業研修会」で実施 | | |

第　学年　学級活動(２)指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導学年　　第　学年　組　　計　名

指導者　　　T1：学級担任（氏名）

T2：職名　　（氏名）

１ 題材　　　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

（エ食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成）（※小学校の場合）

（オ　食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成）（※中学校の場合）

題材設定の理由は、こういう児童（生徒）で、こういう課題があるので、本時でこういう指導をして課題を解決したいという意図で記入する。

２ 題材設定の理由

　 本学級は、・・・

・具体的に題材に即した実態

・数的に表した具体的な実態　を記入するとよい

そのため、自己の生活上の課題に気付き、多様な意見をもとに、自ら解決方法を意思決定することができるように、本時では、「つかむ」「さぐる」「見つける」「決める」で、どのように指導するのか記入する。実践させるためにどのように指導するのか記入する。

　 つかむ段階では、・・・

　 さぐる段階では・・・

　 見つける段階では・・・

　 決める段階では・・・

自己の生活をよりよくするために、授業後は、学級担任と連携し、自宅でも～しようとする意欲を育てる。～しようとする態度を養う。

３　『ふくしまっ子食育指針』との関連

|  |  |
| --- | --- |
| 食べる力の要素 | 期待する姿 |
|  |  |

４　　評価~~基~~規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能 | 集団の一員としての活動を通した思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
| ～を理解している。  ～を身に付けている。 | ～している。 | 見通しを持ったり/ふり返ったりして  ～しようとしている。 |

学校で定めた低・中・高学年の評価規準を記述する。

まだ整備していない学校は、「『学習と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料　小学校　特別活動P52」を参照。

５　活動計画

|  |  |
| --- | --- |
| 事　　前 | 給 食 時：  事前調査： |
| 本　　時 | ・ |
| 事　　後 | 給食時：  家庭との連携： |
| 他教科等  との関連 | 国語科：  社会科：  家庭科：  など  給食時：  家　庭： |

６ 本時のねらい

　・～するためにはどのようにすればよいか、

・～しようとする意欲をもたせ、　　　　　　　実践することを具体的に決めることができる

自分の課題を理解し、解決するために実践できるような内容にする

７ 本時の活動

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | | 学習活動・内容 | 時間（分） | ○指導上の留意点　　※評価 | | 資料 |
| Ｔ１ | Ｔ２ |
| 意識化 | つかむ | １　本時のめあてをつかむ。  　(１)　身体の  　　○　アンケート結果を  子どもの視点で記入する　～する | めあては囲んで記入する | ○　自分の考えを発  表させる。  子どもにとって必要感・必然性のあるものに  教師の視点で記入する　　～させる |  |  |
| 現状把握・原因追求 | さぐる |  |  |  |  |  |
| 見つける |  |  |  | 集団思考につながる指導内容に |  |
| 実践意識化 | 決める |  |  | 意思決定の意識化・実践化を図る | |  |

８　指導上の留意点

アレルギー、家庭環境等、配慮が必要な場合は明記する。

９　準備・資料等

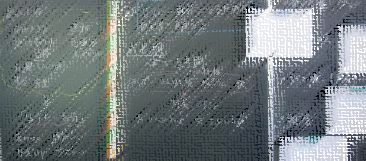
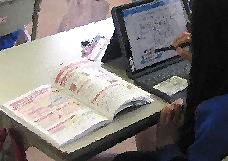
10　板書計画

11　使用したワークシート

12　授業の実際(７の過程をさらに具体的に記入する。)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動･内容 | 教師の働きかけ・発問 | 児童・生徒の反応　資料 |
| １　めあてをつかむ。 | (T1)アンケートを見て気付いたことを発表しましょう。 | ・ごはんがすきな人が多いです。 |
|  | ※「つかむ」「さぐる･見つける」「きめる」で区切る。 |  |
|  |  |  |

○　実際の板書・教材・学習活動の様子



※　実践後のワークシートや活動の様子など、授業内容が分かる記録を示す。

※　児童生徒の写真（ワークシート）を載せる場合は、個人情報に配慮する。

（授業実施校に確認する）

13　研究協議(事後研究)および指導助言より

【授業内容】

|  |  |
| --- | --- |
| 段階 | ○有効だった／●改善が必要 |
| つかむ | ○　教材が･･･  ※中学校は「意識化、現状把握・原因追求、実践意識化」で分ける。 |
| さぐる | ●　板書は･･･ |
| みつける |  |
| きめる |  |

【全体を通して】

○　児童が･･･

　　●　授業の･･･

14　成果と課題(〇成果／●課題)

※　学級活動(2)では、「**授業＋実践**＋家庭との連携・他教科との関連」の結果についてまとめる。

　　・授業をして、どう思ったか･･･△

・授業後、実践に取り組ませたことで児童がどう変容したか･･･◎